

未知の造形へ続く挑戦

「風の彫刻家」新宮晋さん



「風のミュージアム」に行き、作品を眺めると(幸せを運ぶ)青い鳥は身近にいたと実感します」と話す新宮晋さん＝兵庫県三田市

しんがう すすむ 1937年大阪府生まれ。60年東京芸術大絵画科卒業後、イタリアに留学。66年に帰国し、70年の大阪万博に出品した作品などで評価された。著書に「風の旅人」、絵本「ちいさな風」など。2002年に紫綬褒章、10年に旭日小綬章。

風を捉え、繊細に動く野外作品を国内外で多数手掛け、「風の彫刻家」と呼ばれる新宮晋さん。7月で80歳の誕生日を迎えるが、創作意欲は衰えず「先へ先へと可能性を求めたい。思いがけない仕事が出てきたらいい」と目を輝かせている。新宮晋さんの作品は、風を捉え、繊細に動く野外作品を国内外で多数手掛け、「風の彫刻家」と呼ばれる新宮晋さん。7月で80歳の誕生日を迎えるが、創作意欲は衰えず「先へ先へと可能性を求めたい。思いがけない仕事が出てきたらいい」と目を輝かせている。

伊の建築家と作品計画「お互い刺激に」



「コロンスの風」(1992年)＝イタリア・ジェノバ(新宮晋提供)

磯良平さんから油絵を学んだ。卒業後、小磯さんが留学先のローマを訪ねてくれた時にもお世話された。だが、留学中に手掛けた立体作品が風で揺れた光景が目には焼き付き、油絵からシフトした。以来、半世紀にわたり、風や水など再生可能エネルギーをテーマに掲げてきた。街角や水上で揺れる新宮晋作品は風の流れを可視化し、現代人に「新宮晋 風のミュージアム」

静かに響くを鳴らす。東京電力福島第一原発事故に見舞われた日本。世界的に環境問題が深刻化していく時代を目の当たりにし、「人間性の無視が大きな問題だ。社会の悪化に対して制御する方向に働く力がアートだ」と思ふ。表現者としての使命を口にする。書いたなら、それは「設計図」にすぎない。次の世代が達成してくれるかもしれない。『できない』を常に考えている。遠い未来までも射影に入れ、風を知り尽くした彫刻家の挑戦は続く。

文化

多賀城「漢字三千年」監修 阿辻哲次さん講演

多賀城市の東北歴史博物館で開催中の特別展「漢字三千年」(東北歴史博物館、河北新報社、東日本放送など主催)を監修した阿辻哲次さんが、同館講堂で「漢字の文化・中国文字学」をテーマに講演した。阿辻さんによると、世界の日刊新聞で使われている漢字は28種類。日本ではこのうち漢字、平仮名、片仮名、ローマ字の4種類を使用している。通常一つの言語には1種類の文字が対応しており「4種類を使い分けるのは日本語だけの非常に珍しい特徴」と強調した。

表意文字 効率的に伝達

古代人の人生観凝縮



漢字研究の意義と面白さを語る阿辻哲次さん

死んだ子を前にうなだれる父親の形から「死」の字が完成した。「漢字はカプセルのようなもの」と阿辻さん。「字源研究でカプセルを開くと古代の中国人が抱いていた自然観や人生観、宇宙観、価値観が目の前に広がる」という。表音文字のアルファベットの1文字1字には何も意味が込められていないのと対照的に、

苦しみ羽に変える



瀬戸内寂聴さん初の句集

作家の瀬戸内寂聴さんが、初の句集「ひとり」を自費出版した。京都・嵯峨野の「寂庵」で月に1度開いている「法話の会」でもPR。今年、心臓などの病気の治療で入院したが、「本が大好きな人」として、これまでに詠んだ俳句の数が多いと、この句集に込めた思いを語った。苦しみ、苦境に追い込まれたとき、寂庵さんは「苦しみ、苦境に追い込まれたとき、寂庵さんは誰にでも悪い時期はある。そういうときは、私のことを思い出してほしい。同じ状態は続かない。必ず良くなるから」と法話の参加者に優しく語り掛けた。

【日時・会場】21日午後7時、22日午後3時、仙台市青年文化センター(青葉区)【曲目】「ハイドン」の主題による変奏曲「バイオリン協奏曲」、ベートーベン 交響曲第五番「運命」【指揮】ガブリエル・フェルツさん(ドルトムント・歌劇音楽総監督)【独奏】有希・マヌエラ・ヤンケさん(バイオリン)

仙台フィル 第311回定期演奏会

【入場料】S席一般5000円、ユース(24歳以下)2000円、A席一般4500円、ユース1500円、Z席2000円【連絡先】仙台フィルサービス022(226)3934

短 信

◆日本歴史学会賞に大江さん 第18回日本歴史学会賞(同学会主催)は明治大兼任講師の大江洋代さんの論文「明治期陸軍における歩兵科連隊将校団の構造」(『日本歴史』813号)に決まった。賞金は10万円。贈呈式は8日、東京都千代田区の学士会館で。大江さんは1977年東京都生まれ。論文は1889(明治22)年以降、

旧陸軍の歩兵連隊で下士官らの教育に当たった「連隊将校団」について考察。地元出身者を増やすことで、徴兵制の反発を薄め、地域と軍隊を結びつけるとともに日清・日露戦争における軍事力の底上げにつながったと指摘した。 ◆歴史時代作家クラブ賞決定 第6回歴史時代作家クラブ賞(同クラブ主催)の作品賞は荒山徹さんの「白村江」(PHP研究所)に決まった。その他の受賞は次の通り(敬称略) 【新人賞】経塚丸雄「旗本金融道(一) 銭が情けの新次郎」(双葉文庫)、坂井希久子「ほかにほかに路(ふき) 居酒屋ぜんや」(ハルキ文庫) 【シリーズ賞】早見俊「居眠り同心影御用」(二見時代小説文庫)と「佃島用心棒日誌」(角川文庫)、篠綾子「更紗屋おりん雛形(ひながた) 帖」(文春文庫) 【特別功労賞】北方謙三「大水滸伝」シリーズ(集英社)全51巻 完結

県からのお知らせ

宮城県警察官B(大卒以外)採用試験

- 職種・採用予定人員/①男性・55人程度②女性・10人程度
- 申込受付期間/7月28日(金)～8月25日(金)
- 第1次試験日/9月17日(日)
- 受験申込書/県内各警察署などで配布
- 〒980-8410 仙台市青葉区本町3-8-1 県警察本部警務課 ☎0120(204)606(平日(午前9時～午後5時45分)・土・祝日を除く) <http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/keimu/police/>

火力発電所が環境アセスメントの対象事業になりました

全国的に増加している小規模火力発電所の設置計画に対応するため、環境影響評価条例施行規則を改正し7月1日から、出力3万キロワット以上の火力発電所の設置または変更の工事の事業について環境アセスメントの対象となりました。 ※詳しくは、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。 ☎ 県環境対策課 ☎022(211)2667 <http://www.pref.miyagi.jp/site/assessu/h28-assesu-kisoku-kaisei.html>

宮城県産キノコ加工品PR販売会

7月7日の「乾いたけの日の日」にちなんで、県内で栽培されているキノコの展示や、キノコを使ったお菓子など、さまざまな県産キノコ加工品などの試食・販売をします。 ●日時・場所/7月7日(金)午前11時～午後2時 ●県庁1階玄関ホール ☎ 県農林振興課 ☎022(211)2914

宮城県献血推進協議会委員募集

年間1、2回程度会議に出席し、献血の推進について審議する委員を募集します。 ●対象・募集人員/県内に在住、在勤、在学中の18歳以上の方・1人 ●申し込み/7月31日(月)までに、必要事項を記載した申込用紙と意見書を持参または郵送(消印有効)により下記へ ※詳しくは、下記へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。 ☎ 980-8570(住所記載不要) 県農林振興課 ☎022(211)2652 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/yakumu/>

宮城大夏のオープンキャンパス2017

宮城大学は、創立20周年となる平成29年4月に、学群・学部制に移行しました。新しい学びを体験できるオープンキャンパスにぜひご来場ください。 ●内容/各学群ガイダンス、模擬講義、入試ガイダンス、過去問解説など ●対象/高校生、受験生とその保護者など ●日時/①大和キャンパス(看護学群、事業構想学群)7月17日(月・祝)午前9時30分～午後3時30分②太白キャンパス(食産業学群)7月23日(日)午前9時30分～午後3時30分 ☎ 宮城大学アドミッションセンター ☎022(377)8689 ☎ 県私学文書課 ☎022(211)2295 <http://www.myu.ac.jp/site/oc/>

「夏休み親子統計教室」参加者募集!

親子で楽しく統計グラフを作りながら、統計的な見方や考え方を学び、興味を持った事柄

を数字やグラフで表現する力を育む、親子統計教室を開催します。 ●対象・定員/小学4～6年生の児童とその保護者・1会場15組30名程度(先着順) ●日時・場所/①7月23日(日)・県大崎合同庁舎、②7月30日(日)・県大河原合同庁舎、③8月6日(日)・県庁2階第2入札室、いずれも午後1時～4時 ●費用・申し込み/無料・いずれも開催日の3日前※応募方法など詳しくは下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。 ☎ 県統計課 ☎022(211)2451 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei/>

宮城県地球温暖化防止活動推進員養成研修受講者募集

ボランティアで地球温暖化の現状や対策についての正しい知識の普及啓発活動を行う、推進員の養成講座受講者を募集します。 ●募集人員・参加費/30人程度・無料 ●応募資格/地球温暖化防止活動に熱心なある県内に在住の方(3回程度の講座を受講していただき、平成30年度から推進員として活動していただきます) ●募集期間/7月31日(月)～8月31日(木) ●申し込み/下記問い合わせ先など配布する募集要項に記載の必要書類を持参または郵送(消印有効)により下記センターへ ●申し込み先/〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 ストップ温暖化センターみやぎ ☎022(301)9145 ☎ 県環境政策課 ☎022(211)2661

ひとり親家庭等就業・転職支援セミナー

●内容/「アンテナ感覚で決まる!」就職情報

の集め方、応募書類の作り方 ●対象/県内のひとり親家庭の母や父または専業主婦・転職希望者 ●日時/7月23日(日)午後2時～4時 ●会場/宮城県母子・父子福祉センター ●参加費/無料 ●託児/無料(3歳～小学3年生、要予約) ●申し込み/7月21日(金)午後4時までに電話またはファクシミリに住所、氏名、電話番号、託児の有無(年齢)を記入し下記へ ☎ 宮城県母子福祉連合会 ☎FAX022(256)6512 ☎ 県子育て支援課 ☎022(211)2633

7月28日は「日本肝炎デー」です

ウイルス性肝炎に関する検査の推奨や予防、治療に関する普及啓発を行っています。 県内の指定医療機関や各保健所では原則無料の肝炎検査を実施しています。肝炎デーを機会に肝炎について考えてみませんか。 また、県では、B型・C型肝炎に対するインターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療およびインターフェロンフリー治療への医療費助成を行っています。詳しくは下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。 ☎ 県疾病・感染症対策室 ☎022(211)2632 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/>

産業技術総合センター一般公開「技術のおもちゃ箱」

センターの設備を使った実演紹介や体験教室などを通して「ものづくりの楽しさ」に触れていただく、一般公開イベントを開催します。 ●内容/実演紹介「びっくり!鉄が切れる

※日程や申し込み方法など、各お知らせのより詳しい内容は☎にお問い合わせください。アドレスを掲載しているお知らせは、ホームページにも詳しい情報があります。 ※東日本大震災に関する各種制度および相談窓口などの情報は、データ放送(NHK総合、ミヤギテレビ)で配信しています。

7月は海岸愛護月間です

海岸は、人と海との触れ合いの場として、さまざまな用途に利用されています。利用者が増える一方で、環境の悪化も懸念されており、海岸環境を保全する必要性が高まっています。誰もが海岸を気持ちよく利用できるよう、こみを捨てたり、勝手に土地を占有したりしないようにしましょう。 また、海岸で遊ぶときには、事前に避難ルートを確認し、地震や津波の情報に注意して、安全に楽しみたいと思います。 ☎ 県河川課 ☎022(211)3172

屋外広告物講習会受講者募集

県内で屋外広告業を営む場合には、講習会の修了者など一定の資格者を業務主任者として置く必要があります。本年度の講習会は下記の通り実施します。 ●期日/8月29日(火)、30日(水) ●場所/県庁2階第2入札室 ●受講手数料/4千円 ●申し込み/7月24日(月)～8月4日(金) ※詳しくは下記へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。 ☎ 県都市計画課 ☎022(211)3132 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/okugai.html>

県図書館「夏休み親子ツアー」に参加しませんか?

ふだん見ることができない図書館の裏側の探検や本の貸出業務体験ができるツアーを開催します。 ●対象・定員/県内にお住まいの小学1～3年生の児童とその保護者・各回10組 ●日時/①8月4日(金)午後1時30分～3時30分

②8月5日(土)午後1時30分～3時30分 ●費用・申し込み/無料・7月17日(月・祝)までに図書鑑別用紙に貼付の申し込み用紙、またはホームページの申し込みフォームにより下記へ ☎ 場所・県図書館 ☎022(377)8444 <http://www.library.pref.miyagi.jp/>

みやぎっ子ルルブル推進 優良活動パネル展示

子供たちの健全な成長に必要な生活習慣「ルルブル(しっかり寝る・きちんと食べる・よく遊ぶ・健康に伸びる)」の推進について、活発な取り組みを行っている幼稚園、保育所、小・中学校などを「みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体」として表彰しています。 平成28年度に受賞した18団体の取り組みをパネル展示で紹介。ぜひご覧ください。 ●日程/7月22日(土)～8月6日(日) ●場所/県図書館 エントランスホール ☎ 県教育企画室 ☎022(211)3616

夏期における少年の非行・犯罪被害防止とインターネットの安全利用

夏休みは、解放感から気が緩み、喫煙、飲酒、深夜徘徊などの問題行動を起こす子どもが多く見られます。 また、スマートフォンなどでインターネットを利用してネットトラブルに巻き込まれたり、性犯罪の被害に遭ったりしてしまふケースが後を絶ちません。 夏休みの安全な過ごし方やフィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)の活用を含めたスマートフォンなどの利用ルールについて、家庭でお子さんと話し合いませんか。 ☎ 県警察本部少年課 ☎022(221)7171